

鹿児島県公立高校入試徹底分析【社会】

【形式・難易度】

試験時間	50分	配点	90点
問題構成	大問3題。地理・歴史・公民の分野ごとに大問各1題ずつ。各分野、ほぼ均等配点。 2023年、問題量が6ページ分から10ページ分へと大幅に増加した。 2024年、2015年から出題されていた思考型の論述問題（中間Ⅲ）がなくなったが、論述問題は例年通り出題されている。 大問1 地理分野（31点）：Ⅰ 世界地理（16点）Ⅱ 日本地理（15点） 大問2 歴史分野（31点）：Ⅰ 古代～近世（15点）Ⅱ 近代～現代（16点） 大問3 公民分野（28点）：Ⅰ 政治分野（14点）Ⅱ 経済分野（14点）		

	令和7年度(2025)	令和6年度(2024)	令和5年度(2023)	令和4年度(2022)	令和3年度(2021)
問題量（A4で）	10ページ分	10ページ分	10ページ分	6ページ分	6ページ分
小問数	41問	41問	40問	43問	40問
論述問題の数	10問	12問	11問	9問	10問
論述問題配点	29点	32点	34点	21点	26点
受験者平均点	50.6点	49.4点	51.5点	53.1点	51.2点

【出題の傾向と対策】

① 各分野、基本的な問題が多数出題される。社会の語句は、内容まで理解しておくとい。

2025 大問2 Ⅰ 3

⑥に関して、遣唐使を通じて唐の文化が伝えられ、その影響を強く受けた文化が栄え、資料1のように、日本語の音を漢字で表す和歌などを収めた歌集がつけられました。大伴家持がまとめたと言われるこの歌集名を書きなさい。

① 基本的な内容を問う問題が多いが、正答率が低い(41.6%)問題も存在する。確実に得点することが重要。

② 論述問題では、図・写真などの資料を参考に、それらを活用する思考型論述問題が出題される。問題文をしっかりと読み取り、論理的に考え、条件をもとに解答する練習が必要である。

2025 大問1 Ⅰ 6

夏休みを利用して成田国際空港から略地図中のインドに行くことになったそらは、事前にインドのさまざまな飲食店を調べることにしました。ファストフード店のメニューを見ていたそらは、資料2のように鶏や魚の肉を使用した商品が多いことに気づき、その理由について調べました。資料3は、そらが調べたことの一部を示しています。インドのファストフード店に鶏や魚を使用した商品が多い理由を、資料3をもとにして説明しなさい。

資料2



資料3 インドの人口に占める主な宗教の信者の割合

ヒンドゥー教	79.8%
イスラム教	14.2%
キリスト教	2.3%

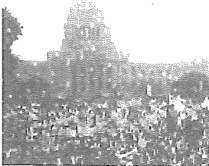
(外務省資料から作成)

② 問題文の「インド」という表記や資料3の「ヒンドゥー教の信者の割合」から、「ヒンドゥー教徒＝牛肉を食べない」という知識が連想できるため、一見すると論述しやすい問題である。しかし、問題には「鶏や魚の肉」とあり、「牛肉と豚肉」を含まない事を示唆していることや資料3には「イスラム教の信者の割合」も示されており、ヒンドゥー教徒だけでなく、イスラム教徒の記載も必要となるが、この点に触れなかった受験生が多くいると推測できる。しっかりと基礎知識と資料を正確に読み取り、思考する問題である。鹿児島県はこのような出題が多くなっているため、類似問題で訓練を重ねておこう。

③ 歴史分野は、並べ替えの問題や時代判別問題がほぼ毎年出題される。年号やできごとの順をしっかりと覚えておくとともに、時代ごとに内容を整理して覚えておくとうい。

6 略年表中の④以降に起こったできごとに関する資料を、次から三つ選び、そのできごとが起こった年代の古い順に並べなさい。

ア  中華人民共和国の建国を宣言する毛沢東

イ  日米安全保障条約の改定に反対するデモ

ウ  イギリス・アメリカ・ソ連の代表者によるヤルタ会談

エ  ベルリンの壁の崩壊を喜ぶ人々

③ ア:1949年、イ:1960年、ウ:1945年、エ:1989年。
略年表中④は日本国憲法公布(1946年)なので、それ以降のできごとを古い順に並べる問題である。年号は正確に覚えよう。

④ 公民分野は、資料問題が多く出題されるので、資料を活用して考察する力が必要になる。特に知識を活用する内容が多い傾向があるので、整理して理解しておくとうい。

2025 大問3 II 5

④に関して、ひかるさんは、消費税に興味をもち、調べてみると、税によって課税方法が異なることに気づきました。ひかるさんが調べた課税方法のうち、消費税の課税方法、A、Bのどちらか、解答欄のあてはまる方を○で囲みなさい。また、資料3は、ひかるさんがこのコンビニエンスストアで買い物をしたときのレシートの一部です。資料3のように、消費税の税率に違いを設けている理由を説明しなさい。ただし、資料3をもとに、負担の割合ということばを用い、消費税の性質を明らかにしながら、解答欄に合わせて書くこととします。

ひかるさんが調べた課税方法

A 低所得者、高所得者ともに、同じ税率で納めさせる。

B 低所得者には低い税率、高所得者には高い税率で納めさせる。

資料3

鹿児島マート

〇〇店

鹿児島市〇〇1丁目

電話:099-000-0000

事業者登録番号T00000000000000

2024年12月19日(木) 17:05

領収書

塩おにぎり	108※
コーンサラダ	198※
お茶	100※
カレーパン	168※
3色ボールペン	271
歯ブラシ	78
乾電池単3(4個)	358
ノート	217
レジ袋	3
小計(税抜8%)	¥574
消費税等(8%)	¥45
小計(税抜10%)	¥927
消費税等(10%)	¥92
合計	¥1,638

※印は消費税8%適用商品

④ 消費税が累進課税制度とは違い、同じ税率で納める税であることを選択した上で、資料3より「軽減税率」を読み取り、それが導入されている理由を、消費税の性質の説明と指定語句「負担の割合」の条件で説明する難易度の高い論述問題である。県全体の正答率も28.0%と低かった。

⑤ 論述問題は、例年、指定語句・字数指定・穴埋め形式があるので、一つ一つ確認して論述すること。

2025 大問1 II 5 (2)

りんさんは、大阪府に開園(2001年)したテーマパークがある場所には、かつて工場が立地していたことを知り、その変化の背景に関する資料5を作成して下のようにまとめを行いました。まとめの文中の□に適合することばを補い、これを完成させなさい。ただし、資料A、資料Bから読み取れることをもとにして、25字以上40字以内で書くこととします。

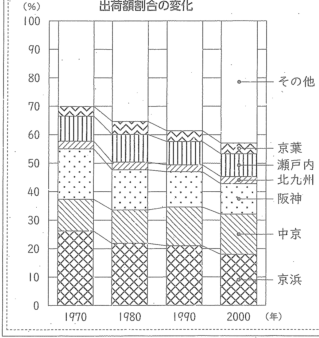
⑤ 字数指定に注意!

まとめ

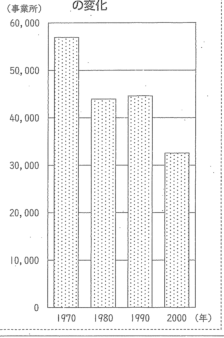
かつて工場があった大阪府の臨海部が再開発された背景として、阪神工業地帯において、工業が発展他地域との競争等によって□があげられる。

資料5 りんさんが作成した資料

資料A 日本の主な工業地帯・地域の製造品出荷額割合の変化



資料B 大阪府の製造業事業所数の変化



解答① 万葉集

② インドの人口のほとんどを、牛肉を食べることを禁じているヒンドゥー教徒と、豚肉を食べることを禁じられているイスラム教徒が占めているから。

③ ア → イ → エ

④ A (消費税には)低所得者ほど負担の割合が高くなる性質があるため、生活必需品である食料品の税率を低くすることで、低所得者の負担を軽くしようとしている。

⑤ 全国の製造品出荷額に占める割合が低下し、大阪府でも製造業事業所数が減少したこと